

公立大学法人島根県立大学「中期目標」の検討に向けた提言書
(有識者会議)

1. 概要

第3期中期目標(H31～H36)策定の参考とするため、大学運営のあり方などについて、H29年度に会議を6回開催し、11月に知事へ提言を行った

2. 委員

分野	氏名	職名等
学識 経験	近藤 倫明	北九州市立大学 学長特別顧問
	佐竹 隆幸	関西学院大学 教授
	青 晴海	島根大学 国際交流センター 教授
経済界	古瀬 誠 (座長)	島根県商工会議所連合会 会頭
	樫山 陽介	浜田商工会議所 会頭
	青野 幸子	島根県商工会女性部連合会 副会長
	竹内 祐子	(株) ウィズスタッフサポート 代表取締役
高校	今井 靖	島根県公立高等学校校長協会 副会長
就職	宮崎 結花	株式会社ウーマンズ 代表取締役
自治体	久保田 章市	浜田市長
関係団体 (専門委員)	秦 美恵子	公益社団法人 島根県看護協会 会長
	山本 綏津子	公益社団法人 島根県栄養士会 会長
	木村 圭子	島根県保育協議会 副会長

3. 提言の主なポイント

(1) 浜田キャンパスの学部のあり方

地域課題を学び、地域に貢献する人材育成を推進するため、地域系に特化した学部・学科の創設や、現在のプログラム再編など、魅力を高める検討が必要

(2) 北東アジア地域研究のあり方

地域に貢献し、大学教育に役立つという視点から、研究の対象地域や分野の拡大や見直しが必要

(3) 大学院のあり方

高度な人材の育成の観点等から、大学院のあり方を検討する必要

- ・ 浜田キャンパス（北東アジア開発研究科）

北東アジア地域研究センターの研究内容の見直しに伴うあり方の検討

- ・ 出雲キャンパス（看護学科）

博士後期課程の設置検討

(4) 教育内容の充実

研究成果を教育内容に生かし、学生へ還元していくことが必要

(5) 地域に貢献する人材の育成

地域ニーズに応じた人材を輩出するため、県内入学者の確保やインターンシップをはじめとした県内就職率向上などの取組を強化する必要

(6) ガバナンス改革

大学運営上必要な改革を行う場合などには、学長のリーダーシップが不可欠であり、学長の執行権限の強化と、その監督を行う理事会機能の強化が必要